

平成 29 年 7 月 31 日

弊社ランプバスの成田空港におけるバニラ・エア到着便（国際線）の 国内線到着ゲートへの降ろし間違いについて

1. 平成 29 年 6 月 18 日発生の「弊社ランプバスの成田空港におけるバニラ・エア到着便（国際線）の国内線到着ゲートへの降ろし間違い」事案につきまして、お客様、関係ご当局様、成田国際空港株式会社様、航空会社様に多大なご迷惑とご負担をおかけしたことを重ねて深くお詫び申し上げます。
2. 弊社は、事案の重大性に鑑み、このような事案を二度と起こさないよう、直ちに業務確認の徹底・深度化、国際線・国内線を区別した行先プレートの明確な表示等の改善を実行するとともに、航空会社様スタッフとの多重の相互確認、到着ゲートでの警備員の確認後の降車等を連携し実施してまいりました。また、全社的に事案の重大性を踏まえた再発防止策の徹底と確実な実施を行うとともに、意識教育の展開を図っています。
3. さらにバニラ・エア株式会社様、成田国際空港株式会社様と弊社の三社による再発防止策の周知徹底、教育体制の構築と定期的な教育、共通手順書の設定に加え、相互に点検・報告・協議を実施する管理体制を構築し、今後、三社にて定期的に会議や点検を行い、再発防止対策を継続的に実施することと致しました。
4. なお、成田国際空港株式会社様のご理解とご協力を賜りながら、弊社としてのヒューマンエラーを防ぐ動態管理システムを早急に構築してまいります。
5. このたびの事案の重大性を重く受け止め、以下の役員に対して減俸処分を行うなど、厳正に対処いたします。

代表取締役社長	増井 健人	減俸 25%×2 ヶ月
取締役(ランプバス部担当)	近藤 俊一	減俸 15%×2 ヶ月

このたびの事案につきまして、重ねて深くお詫び申し上げますとともに、このような遺憾な事案の発生を防止するため再発防止策の実行に徹底的に取り組むとともに、全社一丸となって社会的責任を果たしてまいります。

東京空港交通株式会社
代表取締役社長 増井 健人